

# ひとりひとりのやる気を育てる通信文の書き方を求めて

～通信文記入の観点とその事例～

三重小学校 高田 健 司 川島 美 代

## 1 はじめに

親が子どもの成長発達について最も関心をもつとき、それは毎学期末学校から渡された通信票を手にしたときではないだろうか。そして真先に見入るのはなんと言っても学習の評価であろう。次に行動・性格の記録、そして最後に教師所見とも言うべき通信欄を念入りに精読するであろう。

我々教師として子をもつ親であれば、胸をわくわくさせながら、我が子の通信票に見入った体験はだれにもあることであろう。

そのとき、もし学習の成果なり、行動・性格の記録なりが親の得心のいくような、ある程度期待に応えるようなものであれば、たとえ通信文にどんなことが書かれていようと、大方の親は先ず一安心、そして教師の真心こめて書いた一言一句も軽く頭上をかすめてしまう場合が多いのではないだろうか。

しかし、それとは反対に、学習や行動の記録が期待に反し、評定が「1」とか「2」とか、あるいは「0」がいくつもあったりしたらどうだろうか。または先学期に比べて急激に下がっていたとか、今学期はと期待をかけてがんばったのにオール「3」、オール「B」といったような場合はどうだろうか。

そんなとき、唯一つの救いは、通信文のそれこそ一言一句に、なにか希望のよりどころを求め、真剣に読むことであろう。そればかりではない。たとえ学習や行動の記録が予測した通りの悪結果であったり、諦めた結果であったとしても、より一層の向上への手がかりはやはり通信文にたよることになるであろう。

ところで近年通信票の是非について、あるいは評価の問題についてあれこれマスコミの話題をにぎわし、所によっては、これを廃止したり、いろいろ方式を変えたりして対応策を研究しているようであるが、現実には当市においては厳然として十数年来同じ通信票が使われているが、これをいかに活用し、さらに改善を加えてひとりひとりを育てることに役立てるかということについては別の機会にゆずりたい。

以下、ひとりひとりの期待に応え、これを育て意欲を喚起するための、通信文の望ましいあり方を考究してみたい。

## 2 失敗事例の考察から

1 昨年5月、家庭訪問の折、H児童の母親からおよそ次のような質問を受けた。

「先生、私はこの日をずっと待っていました。先生が家庭訪問に見えたら是非お聞きしたいと

思っていたことがあるんです。」

と言って奥から取り出してきたのは子どもの通信票であった。

学習面では比較的すぐれた方である且兄のことなので、多分学習評価についての誤記かまたは、学習評価について得心のいかない点を指摘されるのではないかという予感がした。

「この通信票、実は先学期 A 先生からいただいたんですが、まあ成績については言うこともないんですが、この通信欄に書かれているこの「ことば」がどうしても気にかかるので一度先生にお聞きしたいと思っていたんですよ。」

と言って通信票を出されたときには、私の予感はずれ、全く当惑した。手にとってよく見るとその通信欄には次のように書かれていた。

能力は高いようで学習面には問題はないように思われるが、性格、行動面にやや偏屈なところがあり、交友関係は不調である。

そして、さらに母親は次のようにつけ加えた。

「これは一体どういうことなのか、私としては精一杯、素直な明るい子に育てようと努力してきたつもりなのに……いい成績のことはどうだっていいんですよ、しかし先生が家の子をこんなふうに見ていたのかと思うと、情ないやら腹立たしいやら、先生に直接お伺いしてお聞きしたい気持ちなんです、それもこわくてできずにこうして、先生ならわかってくれると思ってこの日を待っていたんですよ」

その場はなんとか A 先生の立場を弁護しながら、母親の気持ちをほぐし、得心のいくように話し会って別れてきたが、その間、親と子と教師との間に対立感情がマイナス要因となって働いていた関係の空白はどうしても埋めつくせなかったように思えた。

現実に且兄は担任当初非常に暗く、陰険な感じで、交友関係、対教師との関係も不調であったが、このことをとおして、一枚の通信票、その通信文の一言一句が、ときにはいかに重要な意味をもつものか、改めて考えさせられた。この事例は、表面きって打ち明けられたのでわかったが、だれに打ち明けることもできず、悶々として対立感情や不信感を秘めたまま、やたら子どもの望ましい成長発達を阻害している場合も多々あるのではないだろうか。

### 3 通信票の意義・目的

ところで、通信票を発行する意義、目的はなんだろうか。それは言うまでもなく、学期ごとの教育活動の成果を保護者に知らせることであろう。

しかし、単なる結果の通知ではない。電話料金の通知とか、納税通知、検針結果のお知らせといったような単純な通知でないことは明らかであるが、かと言って情報としての正確さを求める報道的なものでもないであろう。いわば医者が患者の病気をなおすために本人や家族に対する連絡話し合いに似たものといってよいと思われる。

その目的から考えて、どうしたらもっと子どもの成長発達を促進することができるかを模索し、次の発展へのいわば手がかりをさぐるものであり、これまでの指導の反省の上に、父母と教師が、お互いに提携して子どもの成長を見守っていくためのよりどころでもあるのではないだろうか。

したがって通信文の記入にあたっては、努めて温い気持ちで子どもを見つめ、いたずらに児童や保護者の非を攻撃したり、非難したりして感情を刺激することは厳に慎まなければならないことであろう。

それだけでなく通信票に記入される評価は冷酷なものであり、評価それ自体にもいろいろ問題を含んでいると考察される中では、せめて通信文は、温いはげましとなり、児童も父母もともにやる気をかきたてるようなものにしたらいものである。

#### 4 通信文記入にあたって配慮したい点

助戸小学校の青木教諭は、学級経営研究集録の中でこの問題をとりあげ、通信文記入上の観点を次のようにあげている。

- ① 自信をもたせるように書く。
- ② よい点に気づかせる。
- ③ 具体的なゆあてをもたせる。
- ④ 努力を認める。
- ⑤ 進歩の状況を知らせる。
- ⑥ 努力の方向を示す。

そして、さらに次のようにつけ加えている。

「所定の通信票の中で、担任と児童、保護者との心が通い合えるのは、おのずと通信文に限定されてくるであろう……………」

簡潔ではあるが、氏の言おうとしていることはよくわかるような気がする。

一方において冷酷な評価を断定しておきながら、他方においてそれを弁解したり、正当化しようとするような通信文を書くような破目に陥入ることがあるが、要を得た通信文を書くことは、理屈でわかっているにもかかわらず現実にはなかなか難しい。

ましてや、評価を前提にした通信文はどり書いても空しい弁解の響きを脱しきれない感じがしてならない。しからば通信文記入にあたってどんな点に配慮したらよいだろうか。

青木教諭は同じ小論の中で次のような留意事項をあげている。

- ① 能力を否定すべからず…………… 例。学習意欲がない。根気がない…………
- ② 一事を万事とすべからず…………… 例。乱暴で人をなぐる…………
- ③ 欠点だけを書くべからず
- ④ 専門用語を用いるべからず…………… 例。教育課程。集団思考…………
- ⑤ くどくどした言いまわしをすべからず
- ⑥ 冷たい印象を与えるべからず
- ⑦ 致命的なことは書くべからず…………… あとあとまで心の傷として残る
- ⑧ 誤字、脱字、乱暴な文字を書くべからず

～教育技術による～

以来このことを肝に銘じて努力してきた。

しかし、いざ記入する段階になって、短時日の間に、これらのことを念頭に要領よく書こうとしてもなかなか書けない場合がある。どう考えてみても短所や欠点ばかりが浮んできて、温いげましの表現が考えられないことがある。

そんなとき、いつかどこかで聞いた次のようなことをいつも思い出す。

○どんな子でも、何かができる。

○チリ、アクタにも効用がある。

チリ、アクタにさえ大事な効用があるのに、人の子に何も無いはずがない。チリ、アクタにも効用があるということは、ありとあらゆるもの世の中に役立つものはないのだ。その芽を育て効用に気づかせ、効用あらしめることこそ教育の使命ではないだろうか。

そう考えた時、子どもを見る視点が変わり、今まで気づかなかった子どものもっているものに気づかせられた。次に項を改め、これまでの体験から通信文記入にあたって考えてきた基本的な考え方をまとめてみたい。

## 5 通信文記入にあたっての基本的考え方

### ① 断定をしない

どんなことにも例外はある。2つや3つの事例から能力や性格・行動についての断定をしないようにしよう。一事を万事とすべきないことはもちろん、あくまで可能性を信じ、温かく見守ることに心がけよう。

なにごとにも絶対ということはありません。すべては関係によって起こるものと考えられる事例の背後関係の改善に眼を向けよう。

② 方向・方法を示そう。

欠点や短所、是非を羅列することなく、よい点に気づかせ、努力してほしい願いや、方向めあてを具体的に示すことに努めよう。

短所は長所に通じる道のあることを見つけ長所として伸ばせるように導いていこう。

③ 共に歩み、共に考える態度を示そう。

第三者として冷静に見つめ、傍観者としての批判や非難を慎み、共に悩み考える教師であることに努めよう。一方的な見方・考え方を押しつけることなく、呼びかけるようにしよう。

単なる中傷や注意助言は反発を買いこそすれ、意欲には結びつかないであろう。

④ 非難しない。

たとえ以前にどんな事実があっても、事実を楯に本人だけを非難しない。事実は事実としても、その事実を肯定的に受けとめ向上への手がかりとして胸中に収め非難はできるだけさける。

大事なことは過去の事実よりも、現在どう思っているかという気持ちや感情である。過去の事実にとらわれることなく、現在を起点として今後の指向に努めよう。

⑤ 夢や期待を育てる。

子どもは自ら成長する力をもっている。その成長を援助することが教育であるならば、先ずもってその成長力を信じ、これに刺激を与えることによって、自らの成長力を促進させることこそ教師の使命であろう。ひとりひとりの実態に即した夢や希望を書き添えよう。

⑥ 全人的成長を見つめる。

教育の究極の目的は人格の完成にあり、全人的な成長発達を援助することにある。したがって単に学習や性格・行動という観点にとらわれず、子どもの成長を全体的に見つめ、どんな援助が必要かをよく見きわめ、適切な援助につとめる。

⑦ 事実にこだわらない。(事実は必ずしも真実とは限らない)

先に述べたことと重複すると思われるが、とかくわれわれは事実にとらわれやすいように思われるので敢えて一項を設けることにしていた。すなわち、現象と本質を見きわめ、とりわけ断片的な現象(事実)にふりまわされ本質的なものを見失わないようにしていきたい。

事実は常に過去であり、事実にこだわることは、過去にこだわり現実を見失うことになり、過去にふりまわされることになるであろう。

したがって過去の事実よりも現在の感情を大切にし、事実は必ずしも真実でないことを銘記したい。

⑧ 関係を大事にする。

“人は人の中で人となる”とはよく言われることであるが、子どもの相互関係、対教師との関係を大事にし、よりよく育てることに努めるよう働きかける。

以上、通信文記入にあたっての基本的な考え方を列記してみました。いざこれらの観点をふまえて、短時日に、短いことばで要を得た通信文を書くことは容易でないことは、いつものことながら身にしみて感じている。

そして思うことは、通信文の内容も大事であるが、それよりももっと大切に育てなければならないのは、⑧にあげた教師対児童対父母との人間関係であり、信頼関係ではないかと痛感している。

いかに美辞麗句を並べすぐれた通信文を書いたとしてもその根底に相互の信頼関係がなかったら反感、嘲笑を受ければとて、真実を伝えることはできないであろう。

## 6 通信文の記入事例

- ① 活動的で積極的な行動力はこの子のすばらしい特性かと思いますが、学習面では理解力の不足が目立つようです。反復練習が必要かと思います。
  - やや意欲的に学習するようになってきましたが、なお反復練習の必要を感じさせられます。
- ② 幼稚さが目立つように思いますが、本人なりに努力し、遅々たる歩みかと思われませんが、純真素直な態度は、とても好感がもてます。やさしく見守っていきましょう。
- ③ 母親の態度の変容が、こんなにも影響するものかと、今さらながら感心しています。引き続き共に手をたずさえ、一しょに考えながら、この子の成長を考えていきたいと思えます。
- ④ 遅いが着実で真剣な取り組み方には好感がもてます。友だちとのめごとがほとんど見られないことも、この子の一面を雄弁に物語っているように思えます。
- ⑤ 心配していたより、何でもよくやれます。体は小さいが気持ちは大きく、大団んでくじけることを知らない感じです。またおどけたお茶目な面もあり級友の多くから親しまれています。幼稚さからくるのか、やんちゃで一人合点の傾向が感じられるが、体力的にも一律な要求は無理かと意のままにさせてきた。しかしそろそろきびしい一面も身につけさせたいと思っています。
- ⑥ 能力的には精いっぱい努力をしてきたように思われますが、指導の手だてがもう一工夫足りなかったように反省しています。行動面は、やや衝動的で粗忽な傾向が気になっています。
- ⑦ とにかくお会いしてよかったと思っています。以来見ちがえるように積極的になり、いちじるしい進歩が見られたことは事実です。しかし、やや、やんちゃで意地っばりな傾向が、なお一層の向上をさまたげているようです。
- ⑧ 熱心によく努力してきましたが、やや模倣が目立つようです。能力によるのかも知れませんが結果よりも過程を大切にしていきたいと思えます。
  - 無邪気で素直な生き方は、子どもらしく好感がもてるが、欲求が強く、やや利己的な傾向が気にかかります。
- ⑨ 学習、性格、行動ともに他の模範であります。何も言うことはありませんが敢えて言えば、行動がややかんまんなところが見られます。
- ⑩ 落ち着いてしとわかな感じに見えて、相手によっては悪ふざけや意地悪もすることがあるようです。芯は気の強いところもあるのかも知れませんが、学習面では、発表は少ないが、全般によくやっています。
- ⑪ 大変まじめで、無駄口が少なく、落ち着いて優雅な感じはとても好感がもてます。温和で気だてがやさしく少しも意地悪な点は感じられない反面、消極的で気弱なところが見られ、被害者になることが多いようです。学習面は着実であるが遅いのが欠点のようです。
- ⑫ 慎重、正確、小心、人情味豊かにして最も人間らしい情感にあふれる好ましい子どものように思えます。
- ⑬ 落ち着いて上品で、この子からお母さんは想像できない感じがします。学習面も着実でよくやっていますが、声が小さく聞きとれないのが残念です。

従順で落ち着きがあり、誠実な生き方は、どんな関係の中でも争いをおこさない。学習面も着実にまじめで、好感がもてます。

- ⑭ 温厚従順な生き方はとてもすばらしく思います。学習にも自信がついてきたようでも着実に努力している姿が伺えますが、遅いのが欠点のようです。
- ⑮ よく努力しているのですが、時々なまけや、悪ふざけが目立ちます。ふだんはあまり見られません。ふとした拍子に向こうみずなことをすることがあり、無知からするのか、非情さからするのか気になっています。生き物の飼育などいかがでしょう。
- ⑯ 純真で明るく素直な性格のようで好感がもてます。学習態度もまじめで理解力もすばらしいです。
- やや気ままでほうじゅうな傾向が見られるようですが、親の立場からは、どうごらんになられるでしょう。
- ⑰ 時間に無頓着で自由ぼん放、遅いのは気にしない。世話好きでややおせっかいな面も見られる能力は高いようだが未だ十分に発揮されていない感じがする。
- ⑱ 理解力はやや劣るように思いますが、生活態度はまじめで悪意のない人のよさが感じられます。
- ⑲ 悪ふざけは大変少なくなり、まじめに取り組んでいます。根は素直で心のやさしい、ユーモアのある子のようにです。温い眼で見守っていきたいと思っています。
- 能力は高いようですが、お茶目で粗忽な傾向が見られるようです。意欲的であるが、やや散漫な点が成績向上をさまたげているように思われます。
- ⑳ 見かけによらず、小心で気が小さく、くじけやすいように思います。大変気立のやさしい純真さは好感がもてます。
- 気は弱いが慎重で忠実な生き方は、この子の特徴かと思われ。女の子らしい女の子でもめごと少ない。学習面でも着実に能力相応によく努力してきたように思われます。
- ㉑ まじめな紳士、豆紳士、声も大きく発表態度は他の模範です。知的理解、記憶力ともすぐれ、純真で悪意のない生活態度は好感がもてます。行動はかんまんて体育面は、運動能力がやや劣るようです。それでも悪びれもせず真剣に取り組む姿は苦笑したくなることもあるほどです。
- ㉒ 何事にも体験の不足が目立つようです。行動を起こすのが遅く、他律的なところが気にかかります。のん気なのか、鈍感なのか、横着なのか、いずれにしても無気力で意欲に欠けるところが見られます。過保護の結果かと思われしますが、今後とも共に力を合わせて見守っていきたいと思います。
- ㉓ 聡明で理知的な感じがします。やることも着実に落ちがないが、やや独断的で中傷の多いことが気にかかります。
- 前期に同じようですが、独断的で中傷の多いことは少なくなってきたようです。体力的には、自信もついてきたようで、これからが大いに期待されるように思われます。
- ㉔ 運動能力抜群で遊びの中心、指導性もあり、級友の面倒もよくみています。あえて言うと、やや独善的なところもあり自分が不利になると強く抗議する。告げ口の多いことも、少し気にかかります。



- ②5 何事にも真剣に取り組む、凡帳面で着実な反面、時々抜けたところもあり、それがユーモラスで独特なふんいきをかもし出しているように思えます。
- ②6 どちらかと言うと、列車にたとえれば、急行、普通、鈍行のうち鈍行型に入るかと思われますが最近意欲的に取り組むようになり一段と進歩向上してきたように思います。来学期も引き続き温かく見守っていきたい。
- ②7 元気旺盛、活動的で労を惜しまぬ生き方はとても好感がもてますが、負けずぎらいで勝気な傾向が見られ時に和を欠くことがあります。
- ②8 大分固さがほぐれ適当にいたずらや意地悪もするようになってきたことは、本人の成長のために望ましい傾向ではないかと思っています。小心で気弱な傾向はなお気になりますが、能力相応に自信を持たせ本人の意欲を尊重することによって成長を見守りたい。
- ②9 意欲的に取り組むようになったことは、何と言っても最も大きな成果だと高く評価できます。さらに飛躍するために必要なことは、気まま散漫な生活態度の矯正かと思われます。
- ③0 先ず身のまわりの整理整頓を心がけたい。すべてそれからという感じがします。
- ③1 着実、正確や凡帳面な傾向が目立ってきました。私には新しい発見ですが親の立場からはどう思われるでしょうか。
- ③2 無邪気で素直な生き方は子どもらしく好感がもてるが、かわいがってほしい自分のやっていることを認めて欲しいという欲求が強くやや利己的で衝動的な傾向が気にかかる。
- ③3 能力は高いようだがお茶目で粗忽な傾向が見られるようです。意欲的であるがやや散漫な点が向上をさまたげているように思われます。
- ③4 表情に活気が感じられ、主体的な動きが見られるようになってきたことは、大きな変化だと思われま。なお一層自らの意志で活動するよう見守って行きたい。
- ③5 二学期になって気づいたことは、何事にも無頓着でんびりしていること、反応が一呼吸おくれるようであることですが、成長するにつれて徐々に改善されていくものと思われま。
- ③6 現在ありのままをもっと認めてやれたらもっと積極的意欲的に取り組むようになるのではないかという気がします。やや他律的で意欲に欠ける感じがします。
- ③7 とにかくお会いしてよかったと思っています。以来見ちがえるように積極的になりいちじるしい進歩が見られたことは、事実です。やや、やんちゃで意地っぱりな傾向がなお一層の向上をさまたげているようです。
- ③8 世話好きで指導力もあり級友の面倒見がとってもよい時にそれがわざわざいしてもめごとをおこすこともあるがやはり本人の長所だと思います。礼儀正しく生活態度もしっかりしている点とても好感がもてま。
- ③9 幼稚さからくるのかやんちゃで一人合点の傾向が感じられるが体力的にも一律な要求は無理かと意のままにさせてきた。しかしそろそろきびしい一面も身につけさせたいと思っています。
- ④0 世話好きでよく気づきよく話す、家庭における役割がすっかり身につけてそれが学校生活にも延長されている感じでの子だけを相手にしているととても楽しいです。……(一学期)とても利溲で回転が早い。反面やや早呑み込みで粗忽な傾向が見られるようです。それが結果

的には、マイナスになっているようですが、積極的で意欲的な取り組み方には好感がもてます。

……………(二学期)

- ④1 無口で交友関係も少ないが、不満もないようですので問題はないかと思います。家庭での会話を多くするように心がけるとよいかと思います。……………(一学期)

表情に明るさが感じられ生き生きとした毎日を過してきたように思われます。学習面も一段と活発になりすばらしく進歩してきたようです。……………(一学期)

- ④2 よく努力していますが幼稚さが目立ちます。無欲なのか無知なのか、のんびりやなのかもしれません。お坊ちゃんなのかも知れませんがこのままでは成長が停滞するように思います。

……………(一学期)

予測に反して一段と学習も活発になり意欲的に活動するようになりほっとしました。来学期もなお一層の活躍を期待しています。……………(二学期)

終わりに、本論について、校長先生からご懇切なるご指導を戴きましたので深く感謝申し上げますとともに次に併載させて戴き本論の低迷を補いたいと思います。